

「瑞穂鯨城会己書同好会」発足に出席

実施日：2024.11.05/13：30～15：30

在宅サービスセンター 2Fのボランティアルームに男性3名女性4名の有志が出席。小塩紀夫講師から「己書（おのれしょ）」について概要と今までの実務経験の話聞き、僅か半年の履修でここまで人に感銘を与える作品を書かれるとは驚きました。

「己書」とは、王羲之・小野道風とはまるで価値観を逸脱している事、そもそも従来の書道とは違い、各人の個性を活かしたオリジナルで自由奔放な筆文字の表現形式です。

発想の原点も違えば価値観も違い従来の書道とは180度違う比較対象ではないか、比べる事が次元が違いすぎるのだ。小生の様な軽薄な凡人高齢者に相応しい事を知った。

手渡されたリーフレットによれば、「己書いろは」には ①ぐるぐる ②逆書きもあり筆順自由 ③〇円相 ④ハガキの四隅は空ける ⑤二度書もOK ⑥漢字は大きく平仮名は小さく字と字を詰める。以上が基本的なルールである。これだけなら小生でも納得できて十分に意図を理解することができるではないか。A4用紙に極太の筆ペンで早速円相を描いてみたが、丸には程遠く、いびつな楕円形が、慣れれば運筆で少しずつでも円に近づくのが嬉しいではないか？

ところで、「己書」は絵手紙に近いが文章が川柳でもあり、俳句でもあり、仏教思想もあり、文章内容と書道と絵画カットの三位一体で、何を表現すのかが問題なのだ？

筆を気ままに運べば、恥も緊張も彼方に去り心の雄叫びから解放され嬉しく気分爽快になり、ストレス発散になる事を2時間弱の気分解放を実感した。

言うなれば心の健康増進であり、身体の健康はグランドゴルフ・ウォーキングがお勧めだよネ？

次回は12月05日13時半からで、次回のテーマは年賀状作成との事、時節柄嬉しいネ？ サンプルテキストをいただいたので暇に任せて高齢者向けの川柳を「己書」で表現出来たら来年の「趣味の作品展」に出品しよう。「鬼が笑うゾ？」

